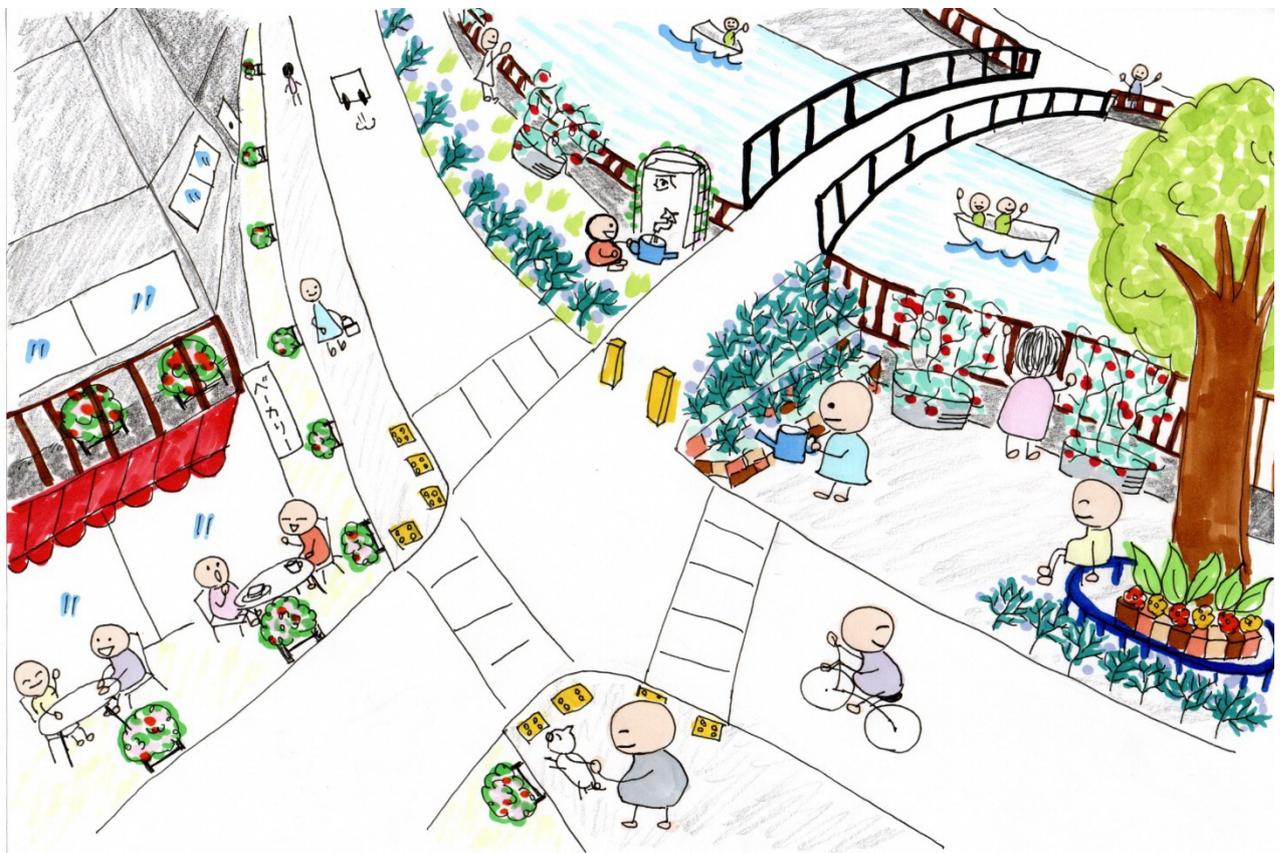


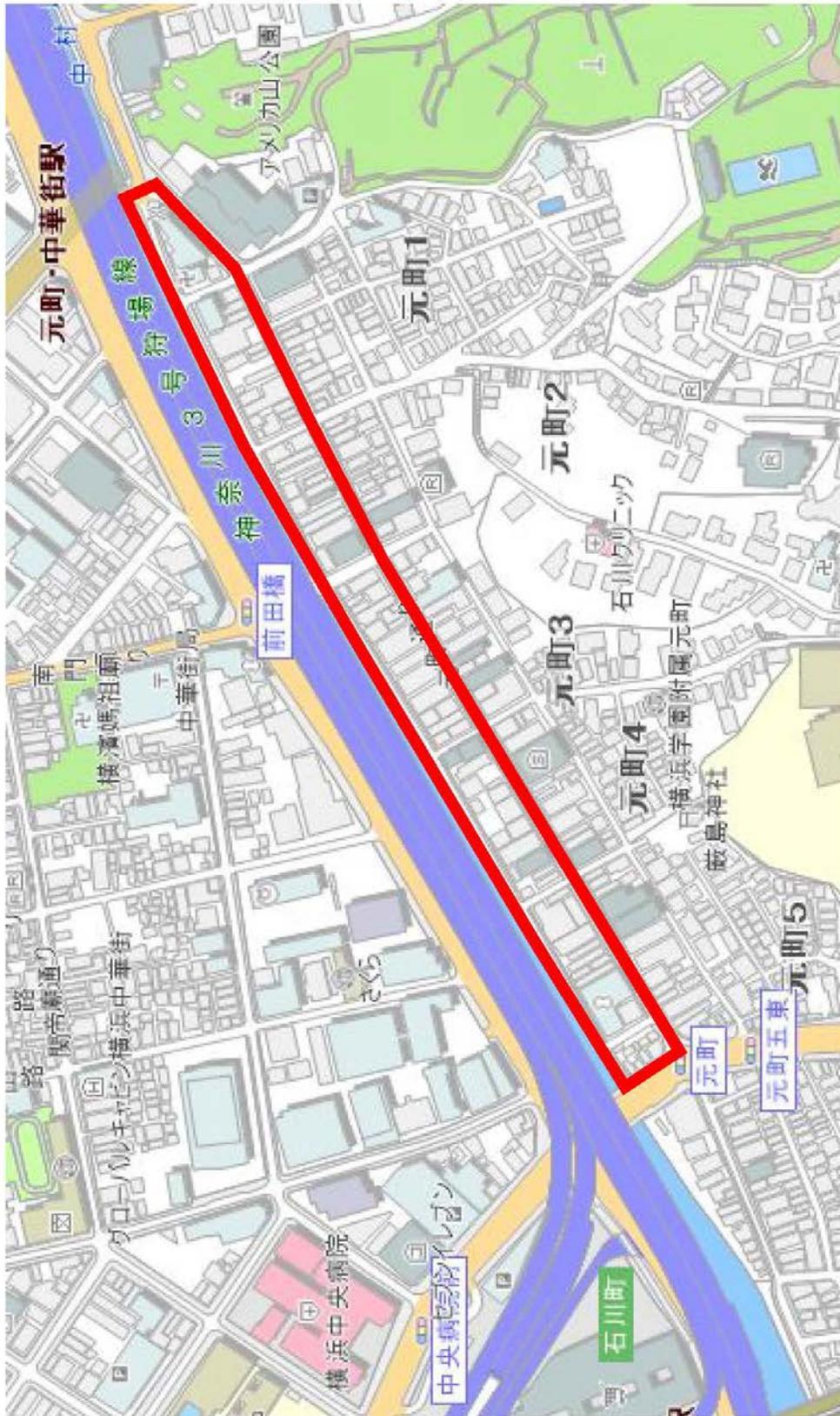
## 元町河岸通り地区 地域緑化計画書

計画名：河と緑にふれあえる通りづくり ～Close to the RIVERGREEN～

推進団体名：元町河岸通り CRG



地区の範囲

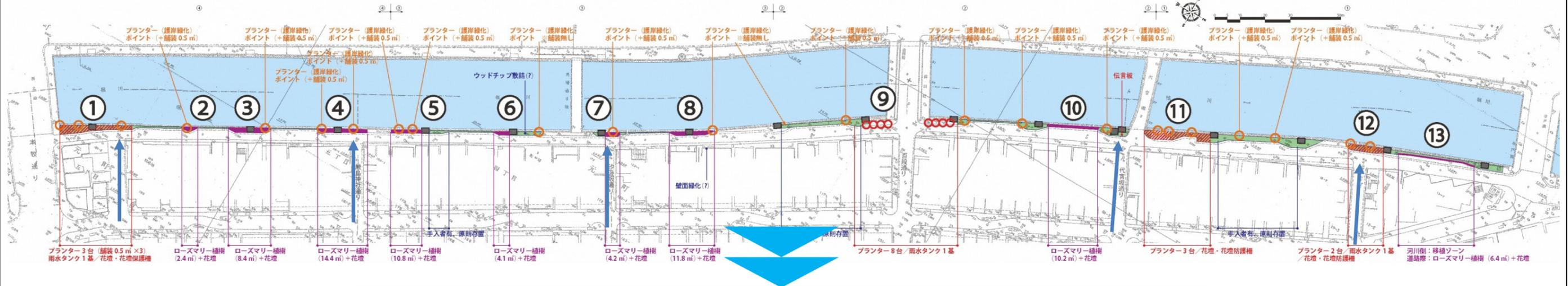


|          |  |
|----------|--|
| 計画期間     | 令和3年度 ～ 令和5年度  |
| 計画の目標    | <p>《提案計画の目標》<br/>河と人、人と人が緑でつながる街づくり</p> <p>&lt;具体的な目標&gt;</p> <p><b>目標① 河岸通りのイメージを明るくする</b><br/>沿道住居・店舗の軒先に花と緑を増やす</p> <p><b>目標② 元町全体の水辺の憩いの場、交流の場づくり</b><br/>整った緑のある憩いの空間を作ることで、来街者（観光客・買物客）、在勤者、住人、近隣商店街との交流の場にする。</p> <p><b>目標③ 日常生活に根付いた維持管理で緑の仲間づくり</b><br/>統一感があり、維持管理しやすい緑と接することで仲間意識が芽生える。</p> <p><b>目標④ 河向こう（中華街側）や水面からも緑が映える街に</b><br/>護岸の緑化で河の向こう側からでも緑の元町を認識できるようにする。</p>  |
| 課題及び背景   | <p>元町河岸通りは元町地区の堀川沿いの通りで、首都高神奈川3号狩場線が建設された際に車道ができ、護岸壁沿いに植栽帯が整備されました。当時様々な種類の植樹が植えられましたが35年経った今、大きく育ち、込み合い、統一性もないままジャングルと化しています。通り沿いの店舗、住民で構成される元町河岸通り会の有志で手入れをしています。全長約600mあり、とても追い付かない状態です。また、通りや運河を活用したイベントを例年開催していますが繁茂しすぎて「河が全然見えない」と言われています。「35年前は河と緑に触れあえる通りだった」、「木陰で河を見ながら休みたい、でも入れない」、「木陰に誰がいるかわからないから夜は怖くて歩けない」とも言われています。そして河からも緑からも人の心は離れて行きました。長年“暗い・汚い・危ない”と言われてきた元町河岸通りです。“明るい・きれい・安心・気持ちがいい”の憩いの場としたいという想いを長年抱えていました。</p> |
| 課題解決及び効果 | <p>公共地である植栽帯と民有地である住居・店舗前を、メリハリのある緑化にすることで身近な緑として実感できます。これまでのジャングルの様な緑に統一感のある整備を行い、花の咲く通りとなることで、元町のメインストリートのバックヤード状態だった元町河岸通りが、堀川を挟んだ中華街から見た元町の魅力的な入り口になります。また多くの人（来街者・在勤者・住民）が憩える場・3密を回避できる場となります。近隣の小中学校の通学路にもなっており、見通しや安全に気を配るとともに、運河を活用したイベントにもより一層積極的に参加できます。また、35年間植栽帯の手入れをしてきていた沿道住民の高齢化が進んでいますが、植え替え時に講習会を開くことで新しく住人になった方が緑化活動に参加しながら地域の人と知り合う機会になります。店舗を営業しながらこれまで行ってきた水やりや掃除も、空き時間等都合に合わせた動きができ、今まで以上に維持管理しやすくなります。</p>      |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>組織づくり</p>                 | <p>本事業で整備した植栽の手入れや植え替えは、これまでハマロードサポーターとして植栽の維持管理活動を行ってきた元町河岸通り会が積極的に運営していきます。元町地区内の他団体（元町自治運営会、元町SS会、元町CS）の協力を仰ぎ、街の憩いの場所としての広報や、維持管理に係る労力・費用の一部負担の検討をお願いしていきます。</p> <p>また、運河の活用を推進している濱橋会や、石川町棧橋の運営を検討している石川町まちづくり委員会と連携し、河の活用や維持管理活動を行います。</p>  |
| <p>計画期間中の緑化整備及び活動の概要について</p> | <p>&lt;民有地緑化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存樹（高木）の足元に花壇を設置し、踏み荒らされないよう防護柵も設置する</li> <li>・街路樹の地被類をローズマリーで統一し、並行する商店街との一体感を出す。</li> <li>・オリジナル屋根付きパーゴラを制作し雨水貯水タンクに給水できるようにすることで増えた緑の維持管理をしやすくする</li> <li>・護岸壁に寄せた既存のプランターから花の咲く緑を下げ、対岸（中華街側）からも河越しに花咲く通りが見えるようにする</li> </ul> <p>&lt;地域緑化活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンギングバスケット制作講習会を年2回程度行い、活動をPRしていく</li> <li>・ハンギングバスケットを活動範囲内に設置し、無機質な空間が緑化されていくのを体感してもらう・育ったローズマリーの摘み取りイベントを行う</li> <li>・維持管理の楽しさへの理解を深め、賛同者や協力者を増やしていく</li> <li>・活動広報として印刷物やSNSを利用し、仲間づくりに励む</li> </ul> |
| <p>計画期間終了後の活動について</p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間終了後もハンギングバスケット植え替え講習会を年2回行い、参加者の増加を図るとともに地域の交流の機会としていく</li> <li>・植替え参加者には既存のバスケットを持参してもらい、材料の苗・土代を負担してもらうことで継続的な運営費とする。（会場・苗の発注等は元町河岸通りCRGが行う）</li> <li>・植栽帯内の緑の維持管理はこれまで通り中土木事務所と連携して行っていく</li> <li>・統一感を出したローズマリーはハマロードサポーターの活動域として元町河岸通りCRGで維持管理をし、成長後は摘み取りイベント等開催していく</li> <li>・雨水貯水タンク・簡易物置を植栽帯内に設置することで、手の空いている誰もが日常的に水やり・掃除をしていく</li> </ul>   |
| <p>資金計画</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己負担金は元町河岸通り会会員へ『通りの緑化整備費』として臨時徴収する</li> <li>・会の母体となる元町河岸通り会の会費からCRG運営資金を捻出していく</li> <li>・活動期間中から活動資金として、元町SS会・元町CS会・元町自治会・住人より寄付金や協賛金を募る</li> <li>・ハンギングバスケット講習会の材料費は有料とし、植え替えイベント等が行われるごとに資金負担が大きくなることの無いようにする。</li> </ul>   |

| 計画年次                           | 計 画 内 容  |
|--------------------------------|--|
| <p><b>1年度目</b><br/>(令和3年度)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計(②～⑧・全体像)・工事監理・全体補修監査等</li> <li>・②～⑧を土壌改良、既存樹木を移植、ローズマリー等を植樹</li> <li>・②～⑧植栽帯内護岸フェンス寄りにプランター台設置&amp;プランター緑化(ルリマツリ等植樹)</li> <li>・オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンクのデザイン設計、作成、設置</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いたハンギングバスケット制作講習会開催(春)(ニチニチソウ等)</li> <li>・会員同士のハンギングバスケット制作講習会開催(秋)(パンジー等)</li> <li>・ハンギングバスケットスタンド、パーゴラ等に広報用ロゴを作成</li> <li>・用具入れ購入設置・園芸資材等の購入・印刷やSNSを使用した広報・植栽生育案内板等</li> </ul> </li> </ul>  |
| <p><b>2年度目</b><br/>(令和4年度)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計(①⑪⑫・花壇・花壇保護柵)・工事監理・全体補修監査等</li> <li>・①⑪⑫を土壌改良、既存樹木を移植、ローズマリー等を植樹</li> <li>・①⑪⑫の既存樹木周辺に保護柵付きピンころ石花壇の整備、球根・常緑宿根草(タマスダレ等)</li> <li>・①⑪⑫内護岸フェンス寄りにプランター台設置&amp;プランター緑化(ルリマツリ等植樹)</li> <li>・屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク作成、設置</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いたハンギングバスケット制作講習会開催(春)(ニチニチソウ等)</li> <li>・会員同士のハンギングバスケット制作講習会開催(秋)(パンジー等)</li> <li>・ハンギングバスケットスタンド、パーゴラ等に広報用ロゴを作成</li> <li>・用具入れ購入設置・園芸資材等の購入・印刷やSNSを使用した広報・植栽生育案内板等</li> </ul> </li> </ul> |
| <p><b>3年度目</b><br/>(令和5年度)</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○民有地緑化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計(⑨⑩⑬)・工事監理・全体補修監査等</li> <li>・⑨⑩⑬を土壌改良、既存樹木を移植、ローズマリー等を植樹</li> <li>・⑨⑩⑬植栽帯内護岸フェンス寄りにプランター台設置&amp;プランター緑化(ルリマツリ等植樹)</li> <li>・屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク作成、設置</li> </ul> </li> <li>○地域緑化活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招いたハンギングバスケット制作講習会開催(春)(ニチニチソウ等)</li> <li>・会員同士のハンギングバスケット制作講習会開催(秋)(パンジー等)</li> <li>・ハンギングバスケットスタンド、パーゴラ等に広報用ロゴを作成</li> <li>・用具入れ購入設置・園芸資材等の購入・印刷やSNSを使用した広報・植栽生育案内板等作成</li> </ul> </li> </ul>   |
| <p><b>創意工夫</b></p>             | <p>商店を営業しながら、過大な負担を感じることなく楽しく花の手入れができるように、オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンクや備品倉庫などは周囲に馴染むように修景し、現地に設置します。緑アップ事業終了後も土木事務所との連携を取り、ハマロードサポーターとして活動をすることで既存緑地の整備に繋がっていくことは、資金・担い手不足を補う最善策になります。また、水上交通実現の暁には陸上からの緑だけではなく、運河から見上げる緑を創出できます。</p>  |

『暗い・汚い・危ない』と言われる通りを『明るい・きれい・安全・気持ちがいい』と言われるために！



河と緑にふれあえる通りづくり ~Close to the RIVERGREEN~

1. 民有地沿道の緑化

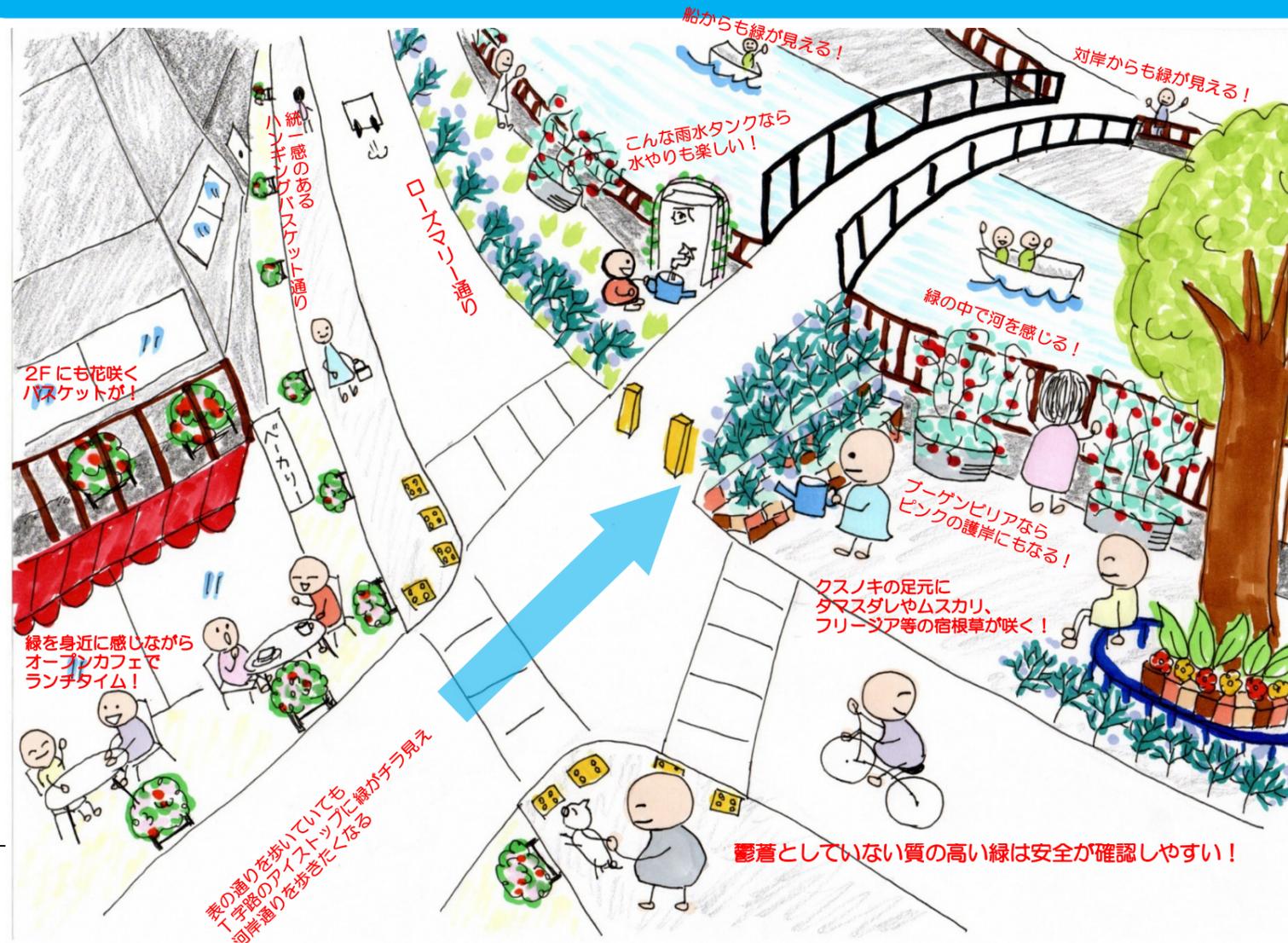
民有地沿道の住居・店舗の軒先にハンギングバスケットを設置 (所有者を決めて維持管理)

2. 既存緑地の質を高め、憩いの場となるための整備

既存高木(クスノキ等)の足元を中心に花壇化+花壇防護柵を設置 (①⑪⑫)  
植栽帯内をローズマリーで揃え、通りとしての統一感を! (①~⑬)

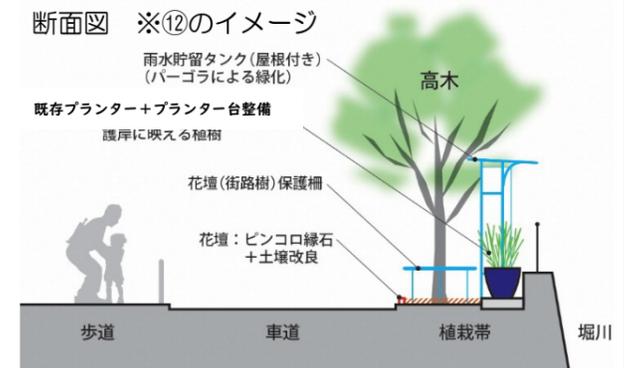
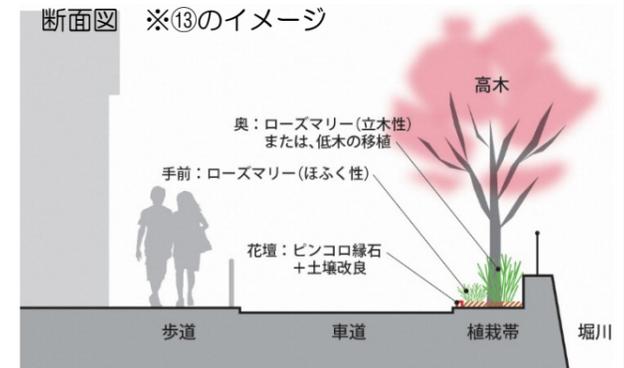
3. 日常的な維持管理活動のための整備

- みんなで日常的な維持管理がしやすく整備!
- 屋根付き雨水貯留タンク (パーゴラで緑化) + 掃除用具入れの設置
  - お揃いのロゴ入りエプロンを作成し、日々の手入りに参加してくれる人に楽しんで参加してもらえるようにする!
  - 掃除用具入れを設置し活動しやすく!



4. 護岸緑化の推進

既存プランターに花の咲く植物(例:ルリマツリ・ヒベリカムヒデコート)を植え、船や対岸からも緑が見えるようにする!



概算事業費（単位：千円）（注1,5）

| 助成項目                  | 細目               | 1年度目（令和3年度）  | 2年度目（令和4年度）   | 3年度目（令和5年度）  | 項目ごとの合計 | ※【参考】<br>助成率・助成金額の上限           |                            |
|-----------------------|------------------|--|---|--|---------|--------------------------------|----------------------------|
| 1 民有地緑化               | ①設計等経費           | 1,000  | 1,000   | 1,000  | 3,000   | 100%以内                         |                            |
|                       |                  | (主な内容)<br>実施設計、工事監理、全体補修監査等<br>候補地②～⑧(予定)の設計・全体像の設計<br>オリジナル屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク<br>デザイン設計等               | (主な内容)<br>実施設計、工事監理、全体補修監査等<br>候補地①①①②の設計<br>花壇&花壇保護柵のデザイン設計等   | (主な内容)<br>実施設計、工事監理、全体補修監査等<br>候補地⑨⑩⑬(予定)の設計   |         |                                |                            |
|                       | ②緑化整備等経費<br>(注2) | 2,800  | 4,400   | 2,800  | 10,000  | 90%以内                          |                            |
|                       |                  | (主な内容)<br>候補地②～⑧(予定)を土壤改良、既存樹木を<br>移植、ローズマリー等を植樹<br>植栽帯内にプランター台設置&プランター緑<br>化<br>屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク作成設置 | (主な内容) 候補地①①②を土壤改良、既存<br>樹木を移植、ローズマリー等を植樹、既存樹<br>木周辺に保護柵付きピンコロ石花壇の整備、<br>球根&常緑宿根草(タマスダレ等) 植付、植<br>栽帯内にプランター台設置&プランター緑化<br>屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク作成設置 | (主な内容)<br>候補地⑨⑩⑬(予定)を土壤改良、既存樹木を<br>移植、ローズマリー等を植樹<br>植栽帯内にプランター台設置&プランター緑<br>化<br>屋根付きパーゴラ雨水貯水タンク作成設置 |         |                                |                            |
| 合計額<br>(注9)           | 概算事業費            | 3,800  | 5,400   | 3,800  | 13,000  |                                |                            |
|                       | (助成見込額)          | (3,520)  | (4,960)   | (3,520)  | 12,000  |                                |                            |
| 2 景観木保全               | ①調査費             | 0  | 0   | 0  | 0       | 100%以内                         |                            |
|                       | ②診断書作成費          | 0  | 0   | 0  | 0       | 100%以内<br>(上限20千円/本)           |                            |
|                       | ③治療費             | 0  | 0   | 0  | 0       | ③と④は各景観<br>木1本につき、<br>合計50千円以内 | 100%以内<br>(上限50千円/<br>本)   |
|                       | ④環境整備費           | 0  | 0   | 0  | 0       |                                | 100%以内<br>(上限50千円/<br>本)   |
|                       | 合計額<br>(注9)      | 概算事業費  | 0   | 0  | 0       | 0                              |                            |
| (助成見込額)               |                  | (0)  | (0)   | (0)  | 0       |                                |                            |
| 3 地域緑化活動<br>(注3)      | ①維持・管理費          | 460  | 340   | 220  | 1,020   | ①～④の合計<br>1,000千円以内<br>/年度     | 100%以内                     |
|                       | ②広報・研修費          | 400  | 520   | 640  | 1,560   |                                | 100%以内                     |
|                       | ③事務費             | 100  | 100   | 100  | 300     |                                | 100%以内<br>(上限100千円/<br>年度) |
|                       | ④諸雑費             | 40   | 40  | 40   | 120     |                                | 100%以内<br>(上限40千円/<br>年度)  |
|                       | 合計額<br>(注9)      | 概算事業費  | 1,000   | 1,000  | 1,000   | 3,000                          |                            |
| (助成見込額)               |                  | (1000)   | (1000)  | (1000)   | 3,000   |                                |                            |
| 年度ごとの合計<br>(注4,6,7,8) | 概算事業費            | 4,800  | 6,400   | 4,800  | 総合計     | 助成見込額の3年度の<br>総合計が15,000千円以内   |                            |
|                       | (助成見込額)          | 4,520  | 5,960   | 4,520  |         | 16,000<br>15,000               |                            |

- (記入時の注意事項)
- 注1: 各細目には、提案計画の助成金と自己負担金を含めた概算事業費(予定金額)を記入してください。計画がない項目や細目は、0(ゼロ)を記入してください。
  - 注2: 民有地緑化の緑化整備等経費には、最低10%の自己負担金が必要となります。(助成金申請時に、自己負担金を用意できることが助成金交付の要件となります。)
  - 注3: 地域緑化活動の助成項目では、1年度につき1,000千円が助成金額の上限となります。
  - 注4: 民有地緑化、景観木保全、地域緑化活動の助成金の合計は3年度で15,000千円が助成金額の上限となります。
  - 注5: 千円単位で記入してください。(なお助成金額は、千円未満切り捨てとなり、端数は自己負担金となります。)
  - 注6: 本概算事業費の年度ごとの合計金額を上回る助成金の申請はできません。
  - 注7: 年度ごとの概算事業費を作成することとし、年度間での助成金のやりとりはできません。(年度ごとに助成事業を完了させる必要があります。)
  - 注8: 上限内での年度ごとの項目内における、細目間での事業計画の見直しは、可能です。(2年度の地域緑化活動における維持管理費を増やし、その分の広報研修費を減らすなど)
  - 注9: 各項目内における細目の合計欄には、概算事業費(予定金額)と、助成見込額の合計を記入してください。なお、助成見込額には、()を付けてください。